

研修報告

総務常任委員会

5月13日～14日

●研修目的

△まちづくり推進事業
「播磨ゆめづくり塾」
について

●研修地

△兵庫県 播磨町

●研修結果

播磨町は、人口3万4千人、面積9平方kmで山が無く瀬戸内海に面し、臨海部の人口島に工業施設平野部に住宅地が広がる兵庫県で一番小さな町でした。

この町のまちづくりに「播磨ゆめづくり塾」という事業がどのような位置づけで、どんな効果をおいているのかを研修することが、今回の大きな研修目的でした。



「播磨ゆめづくり塾」住民協働によるまちづくりの事業として誕生したプロジェクト

★ 住民と行政連携の推進

★ まちづくりを担うリーダー育成
更にこれらを実践させていく事業内容は、以下のようなものです。

① 町の諸問題を見据え未来を考え、新しい発見や夢のあるもの

② イベントに関するもの

③ その他塾の目的を達成するのに必要と認められるもの

具体的には、子育てに関する《心そだち場楽習隊塾》、環境に関する《喜瀬川エコツアー》、健康に関する《心と体のセルフケア塾》など。

▼住民に対して町が公募したゆめづくり塾生から年間4～5つの塾活動に絞り込み、最長5年継続の事業として委託料上限年額30万円で始まります。▼その金額は4年目から減額し、年次ごとの決算報告はもとより、細かい運営規則があります。▼単なるサークル活動にならないように、厳しい選考委員のチェックを受けて合格したもののだけがゆめづくり塾として認定されます。▼その効果として活動していく中で、優れた人材の発掘やリーダーの育成ができ、その後のNPO活動などに直結している事例もあると聞きました。

また各塾間の交流や合同イベントなども開催してより幅広い住民活動につなげて、環境や教育・福祉の充実などまちづくりの推進に寄与している

とのことでした。

●今後の課題

当町にも既存の住民ボランティアグループがたくさんありますが、町全体を巻き込むような大きな活動につなげていくには、もう少し町と協働していく必要があるようです。

▼この研修を通してリーダー育成の必要性をさらに感じ、今後のまちづくりの参考にしていきたいと思いました。

